

[総会資料と決定事項]

日本透析医会通常総会資料および主な決定事項

日本透析医会通常総会が平成12年5月21日（日）午後2時からホテルニュー神田（東京）にて開催された。以下に、その際の資料（抜粋）と主な決定事項等を報告する。

（社）日本透析医会通常総会資料

- I 平成11年度事業報告書
- II 平成11年度収支決算書
- III 平成12年度事業計画書（案）
- IV 平成12年度予算（案）

平成12年度通常総会での主な決定事項

（社）日本透析医会通常総会議事録

（社）日本透析医会役員名簿

(社) 日本透析医会通常総会資料

[第1号議案]

I 平成11年度事業報告書

第1 会議

1. 総会

平成11年度通常総会 平成11年5月16日

第1号議案 平成10年度事業報告及び収支決算の承認を求める件

第2号議案 平成11年度事業計画及び予算の承認を求める件

第3号議案 新役員の承認を求める件

第4号議案 その他

2. 理事会

●平成11年5月16日

協議事項

1. 平成11年度通常総会提出議案について

第1号議案 平成10年度事業報告及び収支決算の承認を求める件

第2号議案 平成11年度事業計画及び予算の承認を求める件

第3号議案 新役員の承認を求める件

第4号議案 その他

2. その他

報告事項

1. 会員の入・退会者について

2. その他

3. 常務理事会

●平成11年4月14日(臨時)

協議事項

1. 平成10年度収支決算書について

2. 助成事業について

〈参考〉 (1) 社団法人日本透析医会定款

(2) 社団法人日本透析医会会計処理規則

3. 在宅血液透析返還分の用途について

4. 監査について

5. その他

報告事項

1. 医療技術評価推進検討会報告書

2. その他

●平成11年5月16日

協議事項

1. 平成 11 年度通常総会の開催について
 - (1) 平成 10 年度事業報告及び収支決算について
 - (2) 平成 11 年度事業計画及び予算について
 - (3) 役員の選任について
 - (4) 顧問名簿について
 - (5) その他
2. 厚生省 C 型肝炎班研究発表について
3. その他

報告事項

1. 診療録等の電子媒体による保存について
2. 法令に保存義務が規定されている診療録及び診療録記録の電子媒体による保存に関するガイドライン等について
3. 3 階会議室賃貸借契約の解除について
4. 事務局職員 須藤典子退職について
5. 佐藤威先生 斉藤和夫先生のご逝去について
6. 透析医療費の実態調査（医会雑誌）の結果説明について
7. 日医総研セミナーについて
8. その他

●平成 11 年 6 月 5 日（臨時）

協議事項

1. 劇症肝炎の発生について
2. その他

報告事項

1. 平成 11 年度の医療法第 25 条の規定に基づく立入検査の実施について
2. その他

●平成 11 年 6 月 19 日（臨時）

協議事項

1. 委員会について
2. 学会等の助成について（第 45 回（社）日本透析医学会学術集会総会）
3. 学会・研究会に関する調査 「日本の医学会・研究会ディレクトリー」登録票等について
4. その他

報告事項

1. 患者誤認事故防止方策に関する検討会報告書
2. 腎不全治療マニュアルの執筆者一覧
3. 劇症肝炎の経過について
4. 感染症対策委員会について
5. レセプト分析調査について
6. その他

●平成 11 年 7 月 17 日

協議事項

1. 県下で発生した劇症肝炎のその後の経過について

2. 厚生省医薬安全局安全対策課との面談結果について
3. 診療報酬改定の要望について
4. 理事会の開催について
5. その他

報告事項

1. 平成 11 年度各委員会担当理事等について
2. 特定公益増進法人の総事業費について
3. 会員の入・退会者について
4. 感染症対策委員会の報告について
5. 血液製剤の使用指針及び輸血療法の実施に関する指針について
6. 医療機関におけるコンピュータ西暦 2000 年問題危機管理計画の策定等について
7. その他

●平成 11 年 9 月 11 日

協議事項

1. 第 12 回国際サイコ・ネフロロジー協賛の依頼等について
2. ウイルス性肝炎感染多発施設向け血液透析暫定マニュアル
3. 「要望書」関連について
4. 特定公益増進法人の申請について（第 3 回アクセス研究会）
5. 透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル
6. その他

報告事項

1. 第 9 回日本臨床工学技士会学術大会及び全腎協「第 15 回腎不全対策を語るつどい」講演会の後援依頼について
2. 全腎協より「西暦 2000 年問題」への対応について（要望）
3. 日本臨床工学技士会の「2000 年問題危機管理計画策定ガイドライン」
4. 透析患者のウイルス性肝炎の感染防止について（兵庫県健康福祉部長）
5. 維持透析療法委員会（第二委員会）委員の変更について
6. 感染症対策委員会及び医療事故対策委員会の議事録について
7. 会員の入・退会者について
8. 米病院チェーン日本進出の件
9. 第 12 回日本透析医会シンポジウム「プログラム」
10. 大阪府堺市における透析事故について
11. 第 3 回院内感染調査委員会（兵庫県健康増進課疾病対策室）
12. その他

●平成 11 年 9 月 25 日（臨時）

協議事項

1. 米病院チェーン日本進出の件
2. 要望書について
3. 拡大理事会の開催について
4. 台湾の大地震について
5. 全腎協の産経新聞社に対する抗議について
6. その他

報告事項

1. 第9回日本臨床工学技士会学術大会懇親会の出欠について
2. 透析部門の「コンピュータ西暦2000年問題」への対応について
3. レセプト分析調査の最終集計について
4. 施設機能アンケート調査の中間報告について
5. 世界の透析事情
6. 個別請求分及び包括分に含まれる医薬品、材料
7. その他

●平成11年11月13日

協議事項

1. 平成11年度要望書について
2. 透析医療経済実態調査について
3. メールによる質問について
4. 会員名簿の作成について
5. 特定公益増進法人の申請について
 - (1) 第9回腎不全外科研究会
 - (2) 第3回弥彦 Podocyte セミナー
6. その他

報告事項

1. 広島県における院内感染問題について
2. 研修セミナー（開催日平成12年2月27日）の内容について
3. 会員の入・退会者について
4. 全腎協ブックレット（腎不全対策を語るつどい）
5. 医会ニュース「2000年問題と透析医療における危機管理計画」
6. 透析医療と介護保険
7. 施設機能アンケート調査の中間報告について
8. その他

●平成11年12月25日（臨時）

協議事項

1. 全腎協による後援名義使用許可について
2. 特定公益増進法人の申請について
 - (1) 第11回国際腎臓病栄養代謝学会
3. 旅費・宿泊費等の銀行振込について

報告事項

1. 診療報酬の改定について
2. 劇症肝炎新聞記事（読売新聞12月7日発刊）
3. 兵庫の劇症肝炎に係る全腎協の声明文について
4. 平成11年度年会費納入状況・会費別会員数等について
5. 介護予防・生活支援対策について
6. （社）日本透析医会研修セミナー プログラムについて「透析医会における Current Topics 2000—維持透析患者の感染症—」

決 裁

1. (社)日本透析医会会員規程の一部改正の決裁について
2. 拡大理事会の議事録の作成について

その他

1. エイズ疾病対策課による監査結果への対応について

●平成12年2月12日

協議事項

1. 特定公益増進法人の申請について
第6回日本腹膜透析研究会
2. 第52回保健文化賞の推薦について
3. 定款の改正について

報告事項

1. 中医協関連事項について
 - ① 中医協総会資料(第187回2月2日実施)
 - ② 医業経営実態調査からみた適正技術料
2. 広報委員会報告について
3. 人工臓器処置料試案について(人工臓器学会試案)
4. 平成11年度年会費納入・会費数等の状況について

決 裁

1. 規程等の施行及び改正の決裁について
 - ① 職員就業規則
 - ② 会計処理規程
 - ③ 公印管理規程(新規)
2. 学会等助成審査委員会規則(新規)について

その他

1. 日本医師会会長選挙について
2. 医会雑誌A4判(次回号)のレイアウト等について
3. 常務理事会及び委員会議事録(12月25日(土)実施分)
4. 全腎協発行雑誌「人工透析療法で長生きするには」
5. 奈良県医師会透析部会によるマニュアル作成計画(透析患者の食事について)

●平成12年2月26日(臨時)

協議事項

1. 職員の採用について

報告事項

1. 医療審議会諮問及び答申書(案)等について
2. 透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアルについて(厚生科学研究)
3. メディファクス情報について
 - ① 米国TRC 医療機関合併買収について
 - ② 広島のC型肝炎について
 - ③ 診療報酬 諮問・答申関連について
4. 医療保険制度・老人保健制度の改革について
5. 議事録について(2月12日実施)

その他

1. 日本医師会会長選挙お祝いに係る礼状について
2. 第3回日本腎不全看護学会総会開催について

●平成12年3月11日（臨時）

協議事項

1. 平成12年度通常総会資料について
 - ① 平成12年度事業計画（案）について
 - ② 平成12年度予算（案）について
 - ③ 定款の変更等について

報告事項

1. 平成12年度診療報酬改定関係について
2. 2000年問題（閏日）について
3. 透析医療機関における院内感染対策の推進について（公文書）
4. 会員名簿について

決 裁

1. 4月1日付け事務局職員の採用について

その他

1. 臨時常務理事会議事録について（2月26日（土）実施）

第2 委員会

平成11年度委員会開催状況

(平成11年4月1日～平成12年3月31日)

委員会	開催年月日	備考
1. 適正透析療法委員会		
(1) 適正透析導入委員会		
(2) 維持透析療法委員会		
(3) 適正透析普及委員会	平成11年11月21日	
(4) 適正医療経済委員会	平成11年04月07日 平成11年04月14日 平成11年05月19日 平成11年06月16日 平成11年07月14日 平成11年07月20日 平成11年07月21日 平成11年08月07日 平成11年08月25日 平成11年09月16日 平成11年09月22日 平成11年10月27日 平成11年11月10日 平成11年11月17日 平成11年11月25日 平成11年12月04日 平成11年12月10日 平成11年12月18日 平成11年12月25日 平成11年12月29日 平成12年01月19日 平成12年02月12日 平成12年02月16日 平成12年03月01日	ワーキング ワーキング ワーキング・工臓協 ワーキング レセプト レセプト ワーキング・工臓協 レセプト レセプト 要望書 ワーキング・工臓協 実態調査 実態調査 ワーキング 経営実態 経営実態 経営実態 経営実態 ワーキング・工臓協 経営実態 経営実態 ワーキング ワーキング・工臓協 ワーキング・工臓協
(5) 医療廃棄物対策委員会		
(6) 在宅透析委員会		
(7) 医療制度検討委員会	平成12年02月26日	
2. 危機管理委員会		
(1) 災害時透析医療対策委員会	平成11年09月11日 平成11年11月13日	
(2) 感染症対策委員会	平成11年07月03日 平成11年07月24日 平成11年08月27日 平成11年09月25日	
(3) 医療事故対策委員会	平成11年08月26日 平成11年10月13日 平成11年11月18日	
3. 合併症対策委員会	平成11年09月10日	

委員会	開催年月日	備考
4. 腎移植普及推進委員会		
5. 腎不全予防医学調査研究委員会	平成 11 年 11 月 24 日	
6. 研修委員会	平成 11 年 08 月 26 日 平成 12 年 02 月 27 日	
7. 広報委員会	平成 11 年 07 月 17 日 平成 11 年 09 月 25 日 平成 11 年 11 月 13 日 平成 12 年 03 月 11 日	
8. 情報管理委員会	平成 11 年 06 月 02 日 平成 11 年 06 月 12 日	
9. 内規委員会		
10. 倫理委員会		

平成 11 年度委員会報告

1. 適正透析療法委員会

(1) 適正透析導入委員会

透析導入者審査委員会設置支部（新潟・栃木・愛知）に助成した。

(2) 適正透析普及委員会（平成 11 年度 1 回理事会と共同開催）

日時：平成 11 年 11 月 21 日（日）午後 3 時～午後 5 時 場所：津田ホール

- 1) 平成 12 年度要望書について
- 2) 米国の病院チェーン日本進出について
- 3) 兵庫県の劇症肝炎について
- 4) 入会申込の推薦会員について

(3) 適正医療経済委員会（平成 11 年度 24 回開催）

- 1) 施設機能に関するアンケート調査を行い、集計結果については平成 12 年度第 1 号の日本透析医会雑誌に報告予定です。
- 2) 透析医療費の分析について検討を行い、平成 10 年 6 月分外来透析レセプト集計結果が報告された。（平成 11 年 3 月発行の日本透析医会雑誌に報告）
- 3) DRG 関連の内外透析医療比較について、医会と工臓協の合同による欧米各国の透析事情調査が実施された。
- 4) 透析施設基準検討委員会（W・G）について、11 回にわたり討議された。今後も引続き検討し、作業を進めていきます。

2. 危機管理委員会

(1) 災害時透析医療対策委員会（平成 11 年度 2 回開催）

災害時情報ネットワークシステムの設立について検討し、支部あてに情報ネットワーク委員の選出の依頼をした。

(2) 感染症対策委員会（平成 11 年度 4 回開催）

「透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル（案）」が検討された。

(3) 医療事故対策委員会（平成 11 年度 3 回開催）

事故対策マニュアル作成について検討した。

3. 合併症対策委員会（平成 11 年度 1 回開催）

平成 11 年度透析患者の合併症とその対策「肝炎関連ウイルス」の発刊等について検討した。

4. 腎移植普及推進委員会

- (1) 平成 11 年度腎普及推進月間及び第 14 回腎移植推進国民大会の助成を検討した。
- (2) 同推進月間のポスター及び小冊子「献腎」,パンフレットを会員に配布した。

5. 腎不全予防医学調査研究委員会 (平成 11 年度 1 回開催)

「腎不全マニュアル」の発刊 (平成 12 年 4 月発送) をした。

6. 研修委員会 (平成 11 年度 2 回開催)

- (1) 学術研究に助成した。

- 1) 広島県透析連絡協議会

研究課題:「ヒト腹膜線維芽細胞における advanced glycation end-products (AGE) の影響についての研究」

- 2) 香川県透析医会

研究課題:「透析患者における動脈硬化進展阻止の試み—ビタミン E による Isoprostane 産生制御の検討—」

- (2) 下記支部が開催した講習会・講演会に助成した。

支部名	会場	開催年月日
北海道透析医会	札幌医師会館	平成 11 年 11 月 7 日
青森県透析医会	弘前文化センター	平成 11 年 6 月 6 日
宮城県透析医会	斎藤報恩会館	平成 11 年 12 月 5 日
愛知県透析医会	名古屋国際ホテル	平成 11 年 11 月 28 日
大阪透析医会	天満研修センター	平成 11 年 7 月 24 日
岡山県支部	岡山アークセンター	平成 11 年 7 月 10 日
香川県透析医会	観音寺グランドホテル	平成 11 年 7 月 11 日
熊本県透析連絡協議会	済生会熊本病院	平成 11 年 5 月 9 日, 23 日
鹿児島県透析医会	鹿児島城山観光ホテル	平成 11 年 5 月 22 日

- (3) (社) 日本透析医会シンポジウムを開催した。

「ブラッドアクセストラブルに対するインターベンション治療の適応と限界—操作・設備, 医療経済性, 予防的治療効果についても考える—」

日 時: 平成 11 年 11 月 21 日 (日曜日) 午前 9 時~午後 3 時

場 所: 津田ホール

司 会: 天野 泉 (社会保険中京病院) 成松芳明 (慶應義塾大学)

講演者: 春口洋昭 (東京女子医科大学) ほか 6 名

出席者: 150 名

- (4) (社) 日本透析医会研修セミナーを開催した。

「透析医療における Current Topics 2000—維持透析患者の感染症—」

日 時: 平成 12 年 2 月 27 日 (日曜日) 午前 9 時 30 分~午後 3 時 35 分

場 所: 津田ホール

司 会: 頼岡徳在 (広島大学医学部附属病院) ほか 4 名

講演者: 山崎親雄 (増子記念病院) ほか 4 名

出席者: 150 名

7. 広報委員会 (平成 11 年度 4 回開催)

- (1) 日本透析医会の企画・編集等について, 上記 4 回にわたって, 討議された。
- (2) 医会雑誌 Vol.14 No. 3 発刊

- 1) 透析診療報酬の変遷と透析医会の歩み
- 2) 日本版 DRG/PPS を巡る諸問題
- 3) 透析の 30 年の歴史とわれわれに残された今後の問題
- 4) 透析医療での危機管理を考える―阪神淡路大震災現場からの報告―
- 5) 1998 大分県透析医会防災対策
- 6) 兵庫県透析医会のパソコン通信ネットワーク
- 7) 第 11 回 (社) 日本透析医会シンポジウム―維持 HDF (血液透析濾過) の考え方と使い方―
- 8) 腎不全患者における画像診断のポイント
- 9) 透析アミロイドーシスと HLA
- 10) 各種 pH, 各種グルコース濃度条件下におけるヒト腹膜中皮細胞の動態と凝固・線溶系バランスについて
- 11) 透析医療費実態調査概要報告
- 12) 支部だより
- (3) 医会雑誌 Vol.14 No. 4 発刊
 - 1) 「お知らせ」2000 年問題
 - 2) 米国における血液透析治療の現状
 - 3) 欧州主要国における血液透析治療の現状
 - 4) 透析患者の介護度
 - 5) 老人保健施設における透析医療
 - 6) 有床診療所における透析医療
 - 7) 病院における透析医療
 - 8) 介護保険における透析医療
 - 9) 岡山県医師会透析部会「災害対策マニュアル」
 - 10) 透析医療機関におけるウイルス肝炎院内感染発生後の対応について
 - 11) 高知県透析要介護者の実態とその対応を考える
 - 12) 平成 11 年度岡山県血液透析患者の実態に関するアンケート結果
 - 13) 透析液清浄化およびオンライン血液透析濾過 (HDF) の展望
 - 14) コーディネーターからみた我が国初の脳死移植の経緯
 - 15) 和歌山県下における緊急血液浄化法診療ネットワーク作成について
 - 16) 慢性腎不全患者血中の造血刺激・抑制因子の研究
 - 17) 法令に保存義務が規定されている診療録及び診療諸記録の電子媒体による保存に関するガイドライン
 - 18) アルブミン製剤の適正使用について
 - 19) 支部だより

[第1号議案]

II 平成11年度収支決算書

1. 収支決算書（平成11年4月1日から平成12年3月31日まで）

(単位：円)

科 目	平成11年(案)	決 算 額	差 異	備 考
I 収入の部				
1. 会費収入	72,000,000	73,826,000	1,826,000	
2. 入会金収入	300,000	480,000	180,000	
3. 寄付金収入				
助成協賛金	64,500,000	101,409,000	36,909,000	
助成金	0		0	
寄付金	0		0	
寄付金収入合計	64,500,000	101,409,000	36,909,000	
4. 受取利息収入	300,000	277,195	-22,805	
5. 会場収入	0	266,000	266,000	
6. 雑収入		10,350	10,350	
7. 保証金戻し収入		5,000,000	5,000,000	
当期収入合計(A)	137,100,000	181,268,545	44,168,545	
前期繰越収支差額	42,000,000	47,917,559	5,917,559	
収入合計(B)	179,100,000	229,186,104	50,086,104	
II 支出の部				
1. 事業部				
透析医療適正化事業費	17,411,890	8,494,205	-8,917,685	
地域透析医療システム事業費	14,473,860	8,912,749	-5,561,111	
腎移植普及推進事業費	8,194,940	6,571,615	-1,623,325	
腎不全予防医学調査研究費	3,370,320	70,842	-3,299,478	
研修等事業費	12,011,550	10,937,868	-1,073,682	
広報活動費	12,357,840	6,038,301	-6,319,539	
その他の事業	73,263,600	90,947,176	17,683,576	
事業費合計	141,084,000	131,972,756	-9,111,244	
2. 管理費				
人件費	9,580,000	7,862,002	-1,717,998	
家賃	3,250,000	3,342,958	92,958	
その他経費	8,950,000	8,791,866	-158,134	
管理費合計	21,780,000	19,996,826	-1,783,174	
3. 固定資産取得支出	2,000,000	0	0	
什器備品購入支出	0	0	0	
固定資産取得支出合計	2,000,000	0	-2,000,000	
4. 予備費	2,000,000	0	-2,000,000	
基本財産組入額	0	0	0	
当期支出合計(C)	166,864,000	151,969,582	-14,894,418	
当期収支差額(A)-(C)	-29,764,000	29,298,963	59,062,963	
次期繰越収支差額(B)-(C)	12,236,000	77,216,522	64,980,522	

2. 正味財産増減計算書（平成11年4月1日から平成12年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	金 額		
I 増加の部			
1. 資産増加額			
当期収支差額	29,298,963		
資産増加額		29,298,963	
2. 負債減少額			
受入保証金減少額	-5,000,000		
負債減少額		-5,000,000	
増加の部の合計			24,298,963
II 減少の部			
1. 資産減少額			
建物附属設備除去額	51,622		
什器備品除去額	341,666		
什器備品減少	1,151,845		
災害時システム減少	86,851		
建物附属設備減価償却額	1,900		
災害時システム設備減価償却額	40,683		
什器備品減価償却額	597,490		
資産減少額		2,272,057	
減少の部の合計			2,272,057
当期正味財産増加額			22,026,906
前期繰越正味財産額			292,102,988
期末正味財産合計額			314,129,894

3. 貸借対照表（平成12年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	金 額		
I 増加の部			
1. 流動資産			
現金預金	77,513,015		
仮払金	102,260		
流動資産合計		77,615,275	
2. 固定資産			
基本財産			
定期預金	232,000,000		
基本財産合計	232,000,000		
その他の固定資産			
建物附属設備	0		
災害時システム設備	0		
什器備品	0		
電話加入権	563,372		
淡路建物ビル保証金	6,300,000		
警備保証金	50,000		
その他の固定資産合計	6,913,372		
固定資産合計		238,913,372	
資産合計			316,528,647
II 負債の部			
1. 流動負債			
会費預り金	104,000		
所得税預り金	164,220		
住民税預り金	16,400		
雇用保険預り金	114,133		
流動負債合計		398,753	
2. 固定負債			
退職給与引当金	2,000,000		
固定負債合計		2,000,000	
負債合計			2,398,753
III 正味財産の部			
正味財産			314,129,894
（うち基本金）			(232,000,000)
（うち当期正味財産増加額）			(22,026,906)
正味財産の部の合計			314,129,894
負債及び正味財産合計			316,528,647

4. 計算書類に対する注記

(1) 重要な会計方針

1) 固定資産の減価償却について

有形固定資産については、定率法による減価償却を実施している。

2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、及び仮払金、及び預り金を含めている。

なお、当期末残高は、下記(3)に記載するとおりである。

(2) 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	232,000,000	0	0	232,000,000
合計(基本金)	232,000,000	0	0	232,000,000

(3) 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高
現金預金	77,513,015
仮払金	102,260
合計	77,615,275
会費預り金	104,000
所得税預り金	164,220
住民税預り金	16,400
雇用保険預り金	114,133
合計	398,753
次期繰越収支差額	77,216,522

(4) 有形固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価格	減価償却累計額	資産減少	当期末残高
建物附属設備	322,907	271,285	51,622	0
災害時システム	337,870	251,019	86,851	0
什器備品	6,420,614	4,927,103	1,493,511	0
合計	7,081,391	5,449,407	1,631,984	0

5. 財産目録（平成12年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	32,227		
郵便振替	393,839		
普通預金 東京三菱銀行神田支店	4,043,879		
住友銀行神田支店	255,906		
第一勧業銀行神田支店	77,821		
さくら銀行神田小川町支店	119,761		
あさひ銀行神田支店	969,875		
あさひ銀行神田支店	10,619,707		
定期預金 東京三菱銀行神田支店	61,000,000		
仮払金	102,260		
流動資産合計		77,615,275	
2. 固定資産			
(1) 基本資産			
定期預金 東京三菱銀行神田支店	232,000,000		
(2) その他の固定資産			
建物附属設備			
什器備品			
災害時システム設備			
電話加入権	563,372		
保証金 淡路建物ビル保証金	6,300,000		
警備保証金	50,000		
その他の固定資産合計	6,913,372		
固定資産合計		238,913,372	
資産合計			316,528,647
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
年会費	104,000		
職員等に対する源泉所得税	164,220		
職員等に対する住民税	16,400		
職員等に対する雇用保険	114,133		
流動負債合計		398,753	
2. 固定負債			
退職給与引当金	2,000,000		
固定負債合計		2,000,000	
負債合計			2,398,753
正味財産			314,129,894

管理費内訳

給料	6,775,586	報酬(要源泉)	666,666
法定福利費	737,298	水道光熱費	250,764
通勤費	349,118	家賃	3,342,958
旅費交通費	287,380	諸会費	420,159
会議費	9,765	租税公課	5,000
交際接待費	5,250	慶弔費	65,750
福利厚生費	90,262	雑費	390,133
印刷製本費	920,850	常任理事会費	165,740
通信運搬費	643,010	総会・理事会費	1,386,643
消耗品費	618,294		
委託料	2,866,200	合計	19,996,826

[第2号議案]

Ⅲ 平成12年度事業計画書(案)

事業計画の概要

1. 透析医療の適正化に関する調査・研究事業

適正な透析療法の検討に関する調査・研究

適正透析療法委員会

* 透析療法の質的向上と普遍化を目的とする調査・研究

(1) 適正透析導入部会

適正な導入時期に関する調査・研究

(2) 維持透析療法部会

適正な維持透析療法に関する調査・研究

(3) 適正透析普及部会

適正な透析療法の普及推進を行なう

(4) 適正医療経済部会

適正な透析医療経済に関する調査・研究

1) レセプト分析

2) 施設機能評価の調査・研究

3) 透析医療経営実態調査

(5) 医療廃棄物対策部会

医療廃棄物対策に関する調査・研究

(6) 在宅透析部会

在宅治療(CAPD・在宅血液透析等)の適応基準の調査・研究

(7) 医療制度検討部会

医療制度における透析医療との関連に関する調査・研究

2. 地域医療システムに関する調査・研究

* 透析施設間の相互連携による地域透析医療システムを確立するための調査・研究

① 危機及び災害時における救急透析医療システムの作成に関する調査・研究

危機管理委員会

(1) 災害時透析医療対策部会

ブロック別災害時救急透析医療システムの構築

(2) 感染症対策部会

院内感染実態調査及び感染防止対策の調査・研究

(3) 医療事故対策部会

医療事故実態調査及び事故防止対策の調査・研究

② 長期透析患者の合併症に対する調査・研究

合併症対策委員会

1) 透析導入の初発原因(原疾患・病因等)に関する調査・研究

2) 患者の高齢化に伴う収容施設の相互連携化に対する調査・研究

3) 患者の長期生存に伴い発生する合併症及びその原因に対する調査・研究

3. 腎移植普及推進に関する事業

腎移植普及推進委員会

* 会員及び患者に対しての協力・普及を目的とする。

- 1) 臓器移植推進月間・腎バンク及び地方腎移植推進システムへの協力事業
- 2) 会員に対する腎移植の啓発・教育事業（脳死問題を含む講演会及び腎移植広報活動等）
- 3) 患者に対する腎移植推進事業（会員の日常業務として、地区患者を対象とする推進事業）
- 4) 関係団体への協力事業（医療施設や遺族に対するドネーションの啓発）
- 5) 腎移植コーディネーター問題の研究

4. 腎不全予防医学の調査・研究事業

腎不全予防医学調査研究委員会

* 透析導入を予防し、残腎機能を維持させるための事業

- 1) 透析導入前の慢性腎不全患者に対する保存的維持療法の調査・研究事業
- 2) 関係団体への協力事業

5. 研修等事業

研修委員会

- 1) 腎不全臨床医療スタッフの研修会の開催
- 2) 学術研究への協力
- 3) 関係学会・団体との研究協力
- 4) 国内講演会等の開催

6. 広報活動及び刊行物の発行に関する事業

広報委員会

① 機関誌等の発行

- 1) 雑誌 1,500 部 （年4回発行）
- 2) 医会ニュース 1,200 部

7. 会員の教育・指導及び倫理向上に関する調査・研究

倫理委員会

* 会員の倫理向上に関する調査・研究

8. その他の事業

情報管理委員会

* 医会が行なう各種のアンケート調査結果の管理運用

[第2号議案]

IV 平成12年度予算(案)

[収入の部]

(単位:円)

区 分	平成11年度予算	平成12年度予算(案)	増 減
1. 会費収入	72,000,000	73,000,000	1,000,000
2. 受取利息	300,000	150,000	-150,000
3. 入会金収入	300,000	300,000	0
4. 前年度繰越金	42,000,000	47,900,000	5,900,000
5. 寄付金収入	64,500,000	82,500,000	18,000,000
6. 雑収入			
計	179,100,000	203,850,000	24,750,000

[支出の部]

(単位:円)

区 分	平成11年度予算	平成12年度予算(案)	増 減
1. 事業費	141,084,000	167,343,000	26,259,000
2. 管理費	21,780,000	21,185,000	-595,000
3. 予備費	2,000,000	2,000,000	0
4. 次年度繰越金	12,236,000	11,322,000	-914,000
5. 固定資産取得支出	2,000,000	2,000,000	0
計	179,100,000	203,850,000	24,750,000

区 分	平成11年度予算	平成12年度予算(案)	増 減
基本財産累計	232,000,000	232,000,000	0

支出の部内訳

(単位：円)

区 分	平成 11 年度予算	平成 12年度予算 (案)	%	増 減
I 事業費 (調査研究事業費)	141,084,000	167,343,000	100.0	26,259,000
1. 適正透析療法委員会	17,411,890	17,111,015		-300,875
(1) 適正透析導入部会	1,966,020	1,936,060	1.2	-29,960
(2) 維持透析療法部会	1,454,300	1,439,545	0.9	-14,755
(3) 適正透析普及部会	2,577,740	2,532,575	1.5	-45,165
(4) 適正医療経済部会	6,523,780	6,403,190	3.8	-120,590
(5) 医療廃棄物対策部会	1,008,010	993,030	0.6	-14,980
(6) 在宅血液透析部会	511,720	496,515	0.3	-15,205
(7) 医療制度検討部会	3,370,320	3,310,100	2.0	-60,220
2. 地域透析医療システム	14,473,860	18,154,045		
(1) 危機管理委員会	10,888,110	10,692,320	6.4	-195,790
(2) 合併症対策委員会	3,585,750	7,461,725	4.5	3,875,975
3. 腎移植普及推進委員会	8,194,940	8,044,240	4.8	-150,700
4. 腎不全予防医学調査研究委員会	3,370,320	7,633,230	4.6	4,262,910
5. 研修委員会	12,011,550	11,785,350	7.0	-226,200
6. 広報委員会	12,357,840	12,116,360	7.2	-241,480
7. 情報管理委員会	792,580	777,525	0.5	-15,055
8. 内規委員会	40,000	40,000		0
9. 倫理委員会	0	777,525	0.5	777,525
10. その他の事業	72,431,020	90,903,710		
(1) 学会助成費	72,431,020	90,903,710	54.2	18,472,690
	21,780,000	21,185,000		-595,000
II 管理費	9,580,000	9,580,000		0
1. 人件費	3,250,000	2,500,000		-750,000
2. 家賃	8,950,000	9,105,000		155,000
3. その他の経費	2,000,000	2,000,000		0
	12,236,000	11,322,000		-914,000
III 予備費	2,000,000	2,000,000		0
IV 次年度繰越金				
V 固定資産取得支出				
計	179,100,000	203,850,000		24,750,000

平成12年度通常総会での主な決定事項

平成12年5月21日(日)午後2時から当会の通常総会がホテルニュー神田で開催された。平成11年度の事業報告書及び収支決算書が第1号議案として提出され承認された。第2号議案として平成12年度事業計画(案)及び予算(案)が、また、第3号議案として定款の変更及び諸規定の施行規定等についてが審議され総会の承認をえた。第4号議案は、役員交替について諮られた承された。自由討論では、昨年に引き続いて役員選出についての意見が述べられた。

承認された議案から主だった事項と最近の関連活動を説明したい。

1) 危機管理委員会(委員長 吉田豊彦)の事業活動について

昨年度の総会で緊急設置された当委員会の活動は活発であった。当委員会は、災害時透析医療対策委員会・感染症対策委員会・医療事故対策委員会の3委員会を統轄している。

災害時透析医療対策委員会は、有珠山噴火による透析者の避難と収容に関し北海道支部と緊密な連絡をとり、厚生省との対応や調整作業を行った。北海道支部は、洞爺で透析医療を提供していた病院が噴火により廃院となりその透析者への治療継続に対策本部を設置し、積極的な活動を展開した。逐一、当会事務局に絶えざる報告がなされた。幸い噴火は沈静化し、ことなきを得たことはなによりである。北海道支部に対し、深甚な感謝を表したい。なお、災害時透析医療対策委員会も地域災害の対処をさらに綿密な活動とする目的で、現地視察を行うとの意向である。

感染症対策委員会の活動は目覚ましいものがあった。秋葉委員長は、厚生省厚生科学特別研究事業「透析医療における感染症の実態把握と予防対策に関する研究班」の主任研究者となり、分担研究者と共に『透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル』を上梓した。会員各位にはすでに送付されている本マニュアルは、透析医療の現場から高く評価され非会員からの送付要請が絶えない。

医療事故対策委員会は、総会後に起きた空気塞栓による死亡事故を重視し、コ・メディカルの協力下に透析医療の事故対策活動をすでに開始した。

諸規定等の変更と関連する事項であるが、委員会の下に3委員会が存在する組織を改編して、今後は、危機管理委員会に災害時透析医療対策部会・感染症対策部会・医療事故対策部会の3部会が設置される。他の委員会も同様である。

2) 適正透析療法委員会適正医療経済部会(部会長 山崎親雄)の事業活動について

4月から診療報酬が改定された。透析医療では、医療材料が大幅な引き下げとなり潜在技術料部分が技術料の上乗せとならなかつたのは、ここに当医会が総力を挙げていたものから、甚だ遺憾な結果となった。しかしながら、入院部門の引き上げやEPOの療養型病床への請求が例外として認められたこと等は、当会の要望に沿ったものである。2002年と言われる次回改定には、透析技術料の適正評価を勝ち取るべく、当部会の活動を期待したい。

介護に該当する外来透析、すなわち、入所者に提供される透析医療が外来透析と見なされることに厚生省老人保健福祉局では決定したようであるが、保険局との間での意見統一がなされたという段階には至っていないようである。この点を踏まえ、当部会は、保険局医療課に依頼して4月9日(日)に開催された診療報酬改定の説明会での請求上の疑問点と併せて、決定次第、会員に向けて早急な手段を以って周知する意向である。本年6月17日には、各支部の保険請求や審査に関する代表が日本透析医学会の開催地福岡に集合

して、各支部の審査状況を確認した。この事項についても、会員に連絡する旨の報告がある。

2000年6月分のレセプト分析作業が開始される。前回の結果は、第3回透析医療費実態調査報告として医会雑誌（15巻1号）に掲載した。同様に、当部会のワーキンググループで実施された透析医療機関実態調査についても、前述の医会雑誌にアンケート結果が発表されている。良質な透析医療を確保するために、標準的な透析医療の提供について提案する目的で調査された結果である。全国で展開中の病院機能評価にならって、透析施設が自らの医療機能を自己評価するためのガイドライン作成を検討中である。

3) 医会雑誌の発刊（委員長 飯田喜俊）・腎不全予防医学調査研究委員会（委員長 小出桂三）等の事業活動について

内容の充実を目的として医会雑誌が装丁を新たに発刊された。会員からは手応えのある反響が聞こえている。『腎不全マニュアル 2000』が斬新な切り口から発刊された。評判が良く、これまた非会員からの問い合わせがしきりである。タイムリーな企画で合併症シリーズも巻を重ね『肝炎関連ウイルス』で9巻となった。

研修委員会によるセミナーとコンセンサスカンファレンスも生涯教育にふさわしいテーマを会員に提供していると呼び声が高い。

4) 定款の変更・関連規程の施行について

通常総会において、定款の変更および関連規程が、会員各位の協力により可決承認された。おって、会員各位のお手元に新しい定款をお届けするが、ここでは、定款の変更および関連規程の概要について報告する。なお、定款は、通常総会で可決承認をいただいたのち、厚生大臣に変更認可の申請をした。

① 定 款

当会は、平成11年3月24日に厚生省の公益法人実地検査を受けた。その際に、是正改善を指摘された事項が「常務理事会を定款に定めること」であった。現行の定款には「常務理事会」の定めがなかった。しかしながら、常務理事会は本会設立当初より、永年にわたり、理事会から委任された事項や緊急を要する事項について、その処理を担ってきた。そのことを踏まえ、この度、定款の変更を図ることとした。

定款の変更要点は、次のとおりである。

- ・常務理事会を「常任理事会」に名称を変更する。
- ・「常任理事」を定め、その定足数を7人以内とする。
- ・常任理事会で議決した事項は、その後に理事会に報告し、その承認を求めることとする。
- ・常任理事会の業務は、理事会から委任された事項及び緊急を要する事項の処理に当たることである。

② 常任理事会設置規程

定款に常任理事及び常任理事会が規定されることに伴い、定款を支援する規程として、「常任理事会設置規程」を新規に整備する。

同規程は、常任理事及び常任理事会の業務の範囲を明確にし、本会の運営に寄与することを目的に発足する。

常任理事会設置規程の施行要点は、次のとおりである。

- ・構成員は常務理事会のときと同じで会長・副会長・専務理事・常務理事の7名が担当する。
- ・常任理事会が議決を委任された事項は次のとおりである。
 - 1) 透析医療及び関連事項で緊急を要するものに関すること
 - 2) 大規模災害等への対応に関すること
 - 3) 期限に定めのある事項の処理に関すること

- 4) 助成事業に関すること
- 5) 委員会に関すること
- 6) 会員の入退会及び事務局職員の任免に関すること

③ 学会等助成審査委員会規則

学会等への助成事業の推進については、定款にも定められているとおりに重要な事業の一つである。従来から常務理事会が理事会より委任を受けて、その審査などを実施してきたが、審査基準の明文化したものはなかった。

厚生省は実質上、適正に審査が実施されていることを認めただうえで、公益法人の実地検査では「学会助成事業の公明化を図るため助成基準等を策定すること」と指摘した。そこで、この度「学会等助成審査委員会規則」を新規に発足することとする。

学会等助成審査委員会規則の施行要点は次のとおりである。

- ・ 構成員は、常任理事及び理事会で指名した者とする。
- ・ 審査基準は、研究・調査・学術・教育・研修・保健・福祉などを対象分野として、次の事項との適合性と公益性の観点で審査をする。
 - 1) 人工透析療法の普及、技術の向上・腎不全対策の推進
 - 2) 医療従事者の生涯教育ならびに研修
 - 3) 国民の保健並びに福祉の向上
 - 4) 会員相互の倫理の昂揚並びに資質の向上

5) 要望書の関連事項について

総会資料（265頁）に厚生省保険局医療課に提出した要望書添付資料の人工腎臓処置料試案がある。現行の技術料に見合う算定は、本試案から、連日2シフトを多人数で行う場合に該当するという結果を得た。非常に貴重な資料と認識している。

（文責 鈴木 満）

(社) 日本透析医会通常総会議事録

開催場所：ホテルニュー神田（千代田区神田淡路町 2-10）

開催日時：平成 12 年 5 月 21 日

会員総数：1,147 名

出席会員数：867 名（うち書面出席 840 名 欠席 280 名）

出席者及び欠席者氏名は別添会員名簿に記載

通常総会を平成 12 年 5 月 21 日午後 2 時から開催した。

司会者事務局長加藤和男より、この通常総会が所定の定数を満たし有効に成立したことを報告し、会長平澤由平の挨拶の後、議長の選出について諮ったところ、全会一致で、副会長飯田喜俊を指名し、飯田喜俊が議長となり、挨拶等の後、議長より、本日の議事録署名人に、小出桂三、秋葉隆の両名を指名し、全員の賛同を得た後、直ちに議案の審議に入った。

第 1 号議案 平成 11 年事業報告書及び収支決算書の承認を求める件

常務理事山崎親雄より、平成 11 年度事業報告の説明をし、議長より議決を行なった結果

賛成

監事大森伯より、監査報告の説明をし、議長より議決を行なった結果

賛成

第 2 号議案 平成 12 年度事業計画及び予算の承認を求める件

常務理事吉田豊彦より、事業計画の説明をし、議長より議決を行なった結果

賛成

専務理事鈴木満より、予算の執行方針の説明をし、議長より議決を行なった結果

賛成

第 3 号議案 定款の変更及び諸規程の施行等について

賛成

事務局長加藤和男より、定款の変更及び諸規定の施行等について各条文ごとの説明をし、議長より各条文ごとの議決を行なった結果は、次のとおりである。

1 定款の変更の承認について

定款第 5 章の 2 常任理事及び常任理事会

(1) 第 33 条の 2 関係

- | | |
|-------------------|--------------|
| ① 第 33 条の 2 | 常任理事会の設置 |
| ② 第 33 条の 2 第 2 項 | 常任理事の互選 |
| ③ 第 33 条の 2 第 3 項 | 常任理事会組織と議決事項 |
| ④ 第 33 条の 2 第 4 項 | 規程の準用 |

賛成

(2) 第 33 条の 3 関係

- | | |
|-------------------|----------|
| ① 第 33 条の 3 | 常任理事会の構成 |
| ② 第 33 条の 3 第 2 項 | 常任理事会の開催 |

- ③ 第33条の3第3項 常任理事会の招集
- ④ 第33条の3第4項 常任理事会の招集請求
- ⑤ 第33条の3第5項 常任理事会議決報告事項
- ⑥ 第33条の3第6項 規程の準用

賛 成

(3) 附則関係

附 則 定款の変更時期

賛 成

2 常任理事会設置規定の施行について

- ① 第1条 常任理事会の設置とその目的
- ② 第2条 常任理事の構成
- ③ 第3条 常任理事会の議決範囲
- ④ 第4条 常任理事会開催の定足数
- ⑤ 第5条 常任理事の議決
- ⑥ 第6条 会員等からの意見聴取
- ⑦ 第7条 規程の改正等
- ⑧ 第8条 施行時期

賛 成

3 学会等助成審査委員会の規則の施行について

- ① 第1条 委員会の設置
- ② 第2条 委員会の目的
- ③ 第3条 委員会の権限
- ④ 第4条 委員会の会長及び構成員
- ⑤ 第5条 委員会の開催及び定足数
- ⑥ 第6条 委員会の議決
- ⑦ 第7条 委員会の審査基準
- ⑧ 第8条 委員会での学識経験者等の意見聴取
- ⑨ 第9条 審査の通知手続き等
- ⑩ 第10条 規定の改正等
- ⑪ 第11条 施行時期

賛 成

4 会員規定の一部改正について

- ① 第2条第2号 推薦会員の変更
- ② 附 則 改正時期

賛 成

第4号議案 理事の辞職及び後任理事の改選の承認を求める件

専務理事鈴木満より、理事高杉敬久の平成12年7月31日付け辞任及び後任者原田知の改選について説明があり、議長より議決を行った結果

賛 成

以上を以て通常総会の議事全部の審議を終了したので議長は、閉会を宣して解散した。時に3時10分であった。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において次に記名捺印する。

平成 12 年 5 月 21 日

社団法人日本透析医会通常総会において

議 長	飯田 喜俊
議事録署名人	小出 桂三
同	秋葉 隆

(社) 日本透析医会 役員名簿

平成12年7月31日現在

役 職 名	氏 名	現 職
名誉会長	稲 生 綱 政	医療法人大坪会 東和病院 院長
会 長	平 澤 由 平	社会福祉法人 信楽園病院 顧問
副 会 長	今 忠 正	札幌北クリニック 院長
〃	飯 田 喜 俊	淀川キリスト教病院 教育顧問
専務理事	鈴 木 満	医療法人松圓会 理事長
常務理事	吉 田 豊 彦	医療法人社団誠仁会 理事長
〃	山 崎 親 雄	医療法人衆済会 増子記念病院 院長
〃	秋 葉 隆	東京医科歯科大学 助教授
理 事	太 田 和 夫	太田医学研究所 所長
	山 下 眞 臣	社会福祉法人 恩賜財団済生会 理事長
	小 出 桂 三	社会保険都南総合病院 名誉院長
	石 丸 隆 治	財団法人日本公衆衛生協会 会長
	前 田 憲 志	名古屋大学医学部 教授
	藤 見 惺	福岡赤十字病院 副院長
	松 田 鈴 夫	国際医療福祉大学 教授
	秋 澤 忠 男	和歌山県立医科大学 血液浄化センター 教授
(北海道)	廣 田 紀 昭	廣田医院 院長
(東 北)	関 野 宏	医療法人宏人会 理事長
(東 北)	村 上 秀 一	医療法人三良会 村上新町病院 院長
(関 東)	杉 崎 弘 章	府中腎クリニック 理事長
(甲信越)	土 屋 隆	医療法人輝山会 理事長
(甲信越)	鈴 木 正 司	社会福祉法人 信楽園病院 内科部長
(中 部)	指 出 昌 秀	医療法人一秀会 理事長
(関 西)	後 藤 武 男	高砂市民病院 院長
(関 西)	小 野 利 彦	医療法人桃仁会 理事長
(関 西)	小野山 攻	医療法人小野山診療所 理事長
(中 国)	土 谷 晋 一 郎	医療法人あかね会 理事長
(中 国)	原 田 知	医療法人社団一陽会 原田病院 院長
(四 国)	寺 尾 尚 民	医療法人尚腎会 理事長
(九 州)	後 藤 宏 一 郎	後藤クリニック 院長
(九 州)	工 藤 寛 昭	工藤医院 院長
監 事 (甲信越)	大 森 伯	大森内科医院 院長
〃 (関 東)	岩 月 史 郎	弁護士
〃 (関 東)	伊 原 美 好	公認会計士